



かわせみ通信

8月号
2018年8月
Vol.108

発行所  株式会社 東海テクノ ECOLOGY & SCIENCE 本社/三重県四日市市午起2丁目4番18号(〒510-0023)
TEL.059-332-5122(代) <http://www.tokai-techno.co.jp>

四面楚歌の壁を飛び超えられるか？ ～海洋生物保護の大人の事情～

欧米の外食産業を中心にプラスチック製ストローの使用を取りやめる動きが相次いで報道されている。廃棄されたストローがマイクロプラスチックとなって海洋を汚染し、生物の体内に取り込まれる問題に対応したものが、企業のみならず国家として使い捨てプラスチックを巡る規制や代替の動きが活発化している。もちろん人の健康にも関わる海洋の汚染防止がその目的であることに嘘はないが、深刻な問題が既に表面化している気候変動に関しても各国の足並みが揃わないにも関わらず、この数年で先進国がこうした活動を急激に進めているのにはもっと大人の事情がある。2017年末から施行となった中国の廃棄物輸入禁止策である。各国のリサイクルゴミは、EU、日本、米国を中心に中国に年間約5,000tもの輸出を行ってきたが、それがまずは廃プラ・古紙を対象として、2018年末からは金属製品、電線やケーブルなどが、2019年末からは廃材、木屑な

どを段階的に禁止品の拡大を行っていくことが通告されている。行き場を失ったゴミは、ベトナム、タイ、インドネシア、マレーシアなどアジアの第三国に流れているが、こうした緊急避難先の国々でも中国と同様の規制に動き始めており、ゴミの輸出国は抜本的な解決策への岐路に立たされている。輸出が無理なら国内処理だが、日本



スタバの新たなストロー不要カップ

での燃料としてのリサイクルも、最大の引き取り手であった製紙工場の生産が伸びていないことで引き取り増には応じられない事情がある。過去から廃プラ再生製品も開発されてはいるが、コストと用途が限られることで出口不足であり決め手にはなっていない。ガス化熔融などの処理は有望だが、温暖化ガスの排出抑制に逆行する。こうした四面楚歌状態の高い壁を越えようとする技術の一つが、生分解性プラスチックである。国土が狭くもはや焼却にも戻れないため規制が強化されていくEUに向けて日本の大手化学メーカーは、海水中の微生物によって半年で分解される「生分解性プラスチック」を現在の5倍の生産能力に増強することを発表した。10年後には20倍の能力増強までの計画を描く。貿易戦争の嵐が吹き荒れる昨今だが、オゾンホールの問題と同様に、お尻に火が点けば人類は丸となることを子どもたちに示したいものだ。

かわせみ通信
読者様への感謝企画

「クイズに答えて三重の味をGET!」第二弾

今年かわせみ通信を発行して10年目の感謝をこめたプレゼント企画第二弾！正解者の中からランダムに抽選をして三重県内の弊社お客様が誇る商品をお届けしていく…はずでしたが、前回の問題が難しかったのか、残念ながら第一弾で応募いただいたお客様は30名様に満たず、全員にお配りさせていただくことになってしまいました。今回もぜひ皆様にご賞味いただきたい商品ですので、お答えいただけそうな問題にしてみました。どしどしご応募ください。

クイズ

下の写真は太陽菌分析を行うための準備風景です。この作業は何を行っているのでしょうか？

1. 滅菌 2. 殺菌 3. 除菌



応募概要

配信から締め切り日までにご応募いただき、クイズに正解された方の中から抽選で30名様に「三重の味」を賞品として発送いたします。
(正解者が賞品数を下回る場合は、不正解者の中から当選者を抽選で選ばせていただきます)

応募締切 2018年8月31日

今回の賞品

あずきバーでお馴染み「井村屋株式会社」様【昔ながらの缶プリン】

食後のデザートやおやつとして幅広い年代の方に愛され続けてきた缶プリンは、発売から今年で50周年ということで、記念パッケージとなっています。昔なつかしいデザインと味に心も和む一品です。
【内容量】75g(1個あたり)6個入り【賞味期限】1か年
【箱の大きさ】4cm×17cm×22cm【配送】通常便(常温)でお届けいたします



応募方法

弊社ホームページよりご応募いただけます。クイズの回答と必要事項をご入力ください。
<http://www.tokai-techno.co.jp/present/>



★当選者の発表

厳正な抽選の上、当選者の方にはご登録いただいたメールアドレスにご連絡させていただいた上、賞品の発送をもって発表とさせていただきます。

社員プチコラム

伊藤 孝宏 (四日市分析センター ラボグループ)

高校時代の部活のOBで結成したソフトボールチームが今年で4周年を迎えました。このチームでの最大の成果は、2年前の一般男子全国大会に三重県代表として出場を果たしたことです。結果は初戦敗退。全国の高い壁に、洗礼を浴びせられる形となりました。それから2年は出場が叶わず、5年目を迎える来年こそは、目標の全国ベスト16が達成できるようチーム一丸で練習しています。今年の白山高校バリの雑草魂を見せつける予定です！



編集後記

今年の夏は異常とも感じるような暑い日々が続いており、熱中症対策も当たり前のように叫ばれる中、文科省からは夏休み延長の検討を行うようにと通知が出されました。この暑さはダイポールモード現象が原因で、チベット高気圧と太平洋高気圧が2段に重なったことで、下降気流によって地表の空気が圧縮されているからなのだとか。猛暑が落ち着いたと思ったら、今度はW台風。予報から目が離せません。(みっちー)